

世界の最先端テクノロジーの研究… メガネ型コンピュータ

ホ ロ レ ン ズ

Hololens

めちゃリアル!
3D映像を
直接網膜に!

リアリティ
何でも!

上田 智章

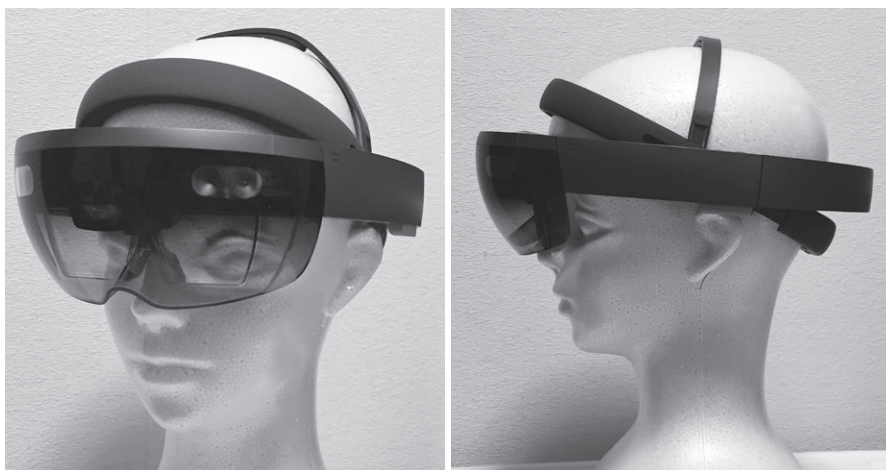


写真1 マイクロソフトの英知が詰まった最先端メガネ型コンピュータHololens (Windows 10 32ビット版, OSバージョン: Windows Holographic)

ホロレンズ (Hololens) は、透過型の3次元HMD (Head Mounted Display) と Windows 10パソコン、バッテリーが一体化したデバイスです。写真1にHololens本体の外観を示します。

Hololens最大の特徴は透過型ディスプレイであることです。

図1にストア・アプリ「3D Viewer Beta」を用いて表示したサメの表示状態を例示します。うっすらと

カーテンが透けて見えますが、サメが空間に3次的に浮かんで泳いでいる様子が見えます。観測者が見る位置を変えると、グラフィックスが表示されている位置は変わらずに、違う方向からサメを観測できます。もちろん、グラフィックスの向きや表示サイズをハンド・ジェスチャで変更できます。図2、図3にも表示例を示します。

まだ日本では販売されていませんが、北米地域(米国とカナダ)では2016年8月から一般販売が開始され、デベロッパ審査を受けなくても買えようになりましたので、早速購入して複合現実を体験してみました。

価格は3,000ドル(米国国内では税金と送料込みで3,250ドル[約33万円])です。少し高いと思われるかもしれませんが、非常に多くのセンサとCPUが一体化したデバイスなので、VR (Virtual Reality) 系のHMDなどと比較すると、むしろ安いかもしれません。

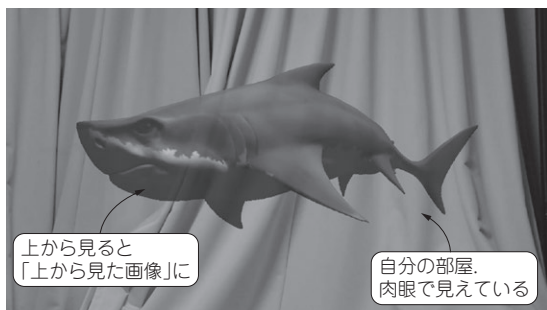


図1 なんと肉眼画像に3D画像を重ねて表示できる
マイクロソフト提供の開発者向けアプリ 3D Viewer Beta で表示したホログラムの例